

クマの市街地への出没に備え 緊急銃猟訓練(第2回)を開催します

クマが市街地に出没した際の対応能力を向上するため、緊急銃猟訓練を開催し、緊急銃猟についての理解の向上と、関係者間の連携体制の強化を図ります。

今回は、訓練の第2回として、「緊急銃猟対応管理システム」を活用し、市町村境付近へのクマの出没を想定した机上訓練及び実地訓練を実施します。

1 日時

令和8年 10月9日(金) 午前9時00分～午後4時30分

2 場所

机上訓練 中野市民体育館(中野市一本木590-1)

実地訓練 夜間瀬川中央河川公園(中野市越)

3 参集範囲

管内市町村、中野警察署、飯山警察署、猟友会、県クマ対策員、ほか

4 講師

信州ガバメントハンター協議会

5 訓練内容(予定)

受付 9:00～9:20

机上訓練 9:20～12:00 市町村境付近へのクマの出没を想定した机上訓練

実地訓練 13:00～16:30 市町村境付近へのクマの出没を想定した実地訓練

6 その他

取材をご希望の場合は、報道機関名と代表者のお名前を下記メールアドレス宛ご連絡ください。



わたしの、私たちの長野県。

150th Anniversary 1876-2026

(問合せ先)

担当 北信地域振興局 林務課
三村、東度

電話 0269-23-0215(直通)

FAX 0269-23-0258

E-mail hokuchi-rimmu@pref.nagano.lg.jp

令和8年度ツキノワグマ緊急銃猟訓練（第2回） 開催要領（案）
～緊急銃猟対応管理システムを活用した市町村連携訓練～

北信地域振興局林務課

近年、ツキノワグマの里地への出没が増加しており、市町村をまたいで移動する個体も確認されていることから、市町村を含む関係者が連携して対応する事態も想定されます。

「長野県ツキノワグマ出没時対応マニュアル」では、地域振興局の役割として、担当者会議等を活用した連絡体制の構築や、市町村境付近での出没事案に係る情報共有体制の確認が求められております。

また、管内においては、近年、「中野市と山ノ内町」や「飯山市と木島平村」など、市街地周辺の市町村境付近における出没・目撃事例が増加しています。

今回の訓練で活用する「緊急銃猟対応管理システム」は、スマートフォンから取得した情報により、緊急銃猟の状況をリアルタイムで把握できるシステムです。本システムの活用した情報共有及び連携体制の実効性を検証するため、下記の日程により市町村連携訓練を実施します。

記

1 実施日時 令和8年10月9日（金）午前9時00分～午後4時30分

2 場 所 机上訓練 中野市民体育館（中野市一本木590-1）
実地訓練 夜間瀬川中央河川公園（中野市越）

3 主 催 北信地域振興局

4 講 師 信州ガバメントハンター協議会（SGHC）

5 参 加 者 市町村、中野警察署、飯山警察署、猟友会ほか

6 内容及びスケジュール

（1）机上訓練【9:00～12:00】

- ・緊急銃猟対応管理システムによるシミュレーション（市町村境付近にツキノワグマが出没したことを想定）
- ・緊急銃猟対応管理システムによる実演（シミュレーションに基づく対応手順の実演）

（2）実地訓練【13:00～16:30】

- ・市街地に近接する河川敷に出没したツキノワグマを想定した、市町村連携による実地訓練（緊急銃猟対応管理システムを活用し、机上訓練の内容を現地で実演）

※上記の訓練について、飯山市、山ノ内町、及び両市町の捕獲者が主で取り組み、その他の参加者には訓練の様子を見学いただきます。